

令和8年度 第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立仲本小学校

1 日時・場所 [日時] 令和8年5月18日(月) 10:00～11:40
[場所] 会議室

2 出席委員 青少年育成仲本地区会会長
仲本小PTA会長
仲本小学校同窓会会長
本太2丁目自治会会長
原山中学校PTA副会長
仲本小学校PTA副会長
前地3丁目自治会会長
仲本小学校校長
仲本小学校教頭
仲本小学校主幹教諭
学校地域連携コーディネーター
仲本小学校事務担当主任専門員

欠席委員 前地自治会会長
東仲町自治会副会長

3 次第

- (1) 挨拶(校長)
- (2) 委嘱状(任命状)の交付
- (3) 学校運営協議会委員 自己紹介
- (4) 学校運営協議会について(教頭)
- (5) 委員長・副委員長選出
- (6) 開会宣言(委員長)
- (7) 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認
休憩・会場準備後
- (8) 熟議
- (9) 閉会宣言(委員長)
- (10) 事務連絡(教頭)(学校地域連携コーディネーター)

4 議事概要

(1) 委員長・副委員長選出について

- ・委員長 青少年育成仲本地区会会長 副委員長 仲本小PTA会長を全員一致で選出

(2) 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認

- ・(校長) 令和8年度さいたま市立仲本小学校グランドデザイン、令和8年度学校自己評価システムシートをもとに説明
- ・(主幹教諭) 本年度の行事予定について
- ・(主任専門員) 本年度の学校予算について
- ・質疑応答

○学校運営に関する基本的な方針等を全委員が承認

(3) 熟議について

「さらに一歩進める取組の計画及び情報交換」

「子どもたち、地域、保護者に対するさまざまな方法の情報発信の充実」

というテーマで3グループに分かれ熟議(10:40~11:20)

その後各グループから発表

グループ3

<主な意見>

- ・それぞれの団体が行う行事等の情報の共有が以前から課題となっている。情報発信の方法(HP、掲示板、メール、回覧板等)を工夫するとともに計画的な情報発信を行う。
- ・情報の発信とともに情報の共有を進め、現在行っている行事の中で各団体で協力できること等すり合わせ、一体感をもって行うことができるものもあるのではないか。
- ・引き続きコミュニティースクールや「自分発見チャレンジさいたま」について周知を深めていく。

グループ2

<主な意見>

- ・あいさつ運動、自治会合同運動会、ラジオ体操等ふれあいを深めるよう工夫して取り組んできたことが成果を上げている。
- ・「自分発見チャレンジさいたま」について周知する取り組みが本年度も必要である。
- ・児童の学力向上のために以前から行っている地域の教育資源を生かした授業についてもさらに取り組んでいくとよい。

- ・あいさつ運動で子どもたちがあいさつを返していいかどうか迷うことがある。ベストや名札についても今後考えていくとよい。

グループ 1

<主な意見>

- ・各団体の運営について、地域・保護者の団体は役員が1年という短期で交代することが多いので、活動の継続を図るために苦勞する。今後このようなことへの対応も考慮していく必要がある。
- ・各団体の活動が充実してきている。まず、子どもたちが参加してもらうこと大切なので、情報発信の方法の理解と工夫が重要である。

上記発表を受け、今行っているふれあいを深める活動をさらに一歩進めていきたい。そして全体として一体感をもって何かできないか工夫をして取り組んでいく。

それぞれの立場でふれあいを深める活動を工夫して実施し、第二回の学校運営協議会で報告してもらうこととする。